

## 令和元年度第2回秋田県立近代美術館協議会（要旨）

日 時	:	令和2年1月24日（金）	13:30～14:40
会 場	:	秋田県立近代美術館	会議室
出席者	:	会 長	木 村 雅 美 横手市教育委員会教育総務部次長兼教育総務課長
		副会長	亀 沢 修 小坂町町史編さん室長
		委 員	池 田 陽 子 株式会社Mag代表取締役
		〃	大 山 満 子 公募
		〃	澤 谷 ゆりか 秋田ふるさと村総務部総務課長
		〃	松 田 砂 織 書道教室「えがおの花」代表
		〃	吉 野 真 史 日本放送協会秋田放送局長
		〃	渡 辺 歩 秋田魁新報社文化部長
		事務局	畑 中 康 博 県生涯学習課 生涯学習・学芸振興班 学芸主事
		〃	仲 町 啓 子 近代美術館 館長
		〃	檜 尾 康 子 〃 副館長
		〃	保 泉 充 〃 学芸班 副主幹（兼）班長
		〃	佐々木 賢 一 〃 総務班 副主幹（兼）班長
		〃	茂 木 亨 〃 〃 副主幹
		〃	加 藤 紫 帆 〃 〃 主事
		〃	鈴 木 秀 一 〃 学芸班 副主幹
		〃	藤 井 正 輝 〃 〃 学芸主事
		〃	高 橋 輝 樹 〃 〃 〃
		〃	小 林 紀 子 〃 〃 〃
		〃	菅 原 真紀子 〃 〃 〃
		〃	鈴 木 京 〃 〃 主任（兼）学芸主事

### <次 第>

#### 1 開 会

#### 2 館長あいさつ

#### 3 会長あいさつ

#### 4 協議

(1) 令和元年度近代美術館事業の概況について

(2) 令和2年度近代美術館事業の概要について

檜尾副館長がパワーポイントを使用して(1)(2)について事業等を説明

(3) (1)・(2)について一括の協議・質疑応答

#### 5 閉 会

## <協議概要>

(発言者：●委員 →事務局)

●美術館は、何のためにあるかを考えると、その地域の文化の拠点だったり、その地域の文化的な土壌を育むことだと思う。そのような空気を話を伺って感じた。

ふるさと村からここに来たが、もっとアプローチが、誘われる感じになるといい。何か自然に足が向くような、呼び込み方ができれば、より身近な美術館になる気と思う。そうしたところを改善していくと近代美術館の取り組みの効果がさらにあがっていく。

●正面入口からのアプローチは、大事なことだ。なかなか改善できずにいるが、課題として、一緒に取り組んでいきたい。

●キャラクターズ号外チラシ完成後、同展を鑑賞した時に6階のスタッフが、「どうぞ」だけで、「新しいチラシがある」、「ぜひ写真撮影してください」とか、何か一言、プラスの声かけがあってもよかった。また、アンケートの回答に、スタッフの対応が「ロボットみたい」とあってそれも気になった。せっかくの新しい試みなので、スタッフも含めて、ぜひ盛り上げていただきたい。

●美術資料収集がゼロとなっていたが美術館の根幹となるのは、資料の収集、保存活用だと思う。郷土作家の作品収集は、なかなか厳しいところだと思う。町の博物館にも、父の遺品とか非常にたくさん持ち込まれる。寄贈もあれば寄託もある。当館ではこのような対応をどのようにしているか。

→寄贈等に関して当館でも、作品を持ち込まれる方が多い。すべてを受け入れることは、できないので、まずは、貴重な秋田蘭画を優先している。受け入れにあたっては、今後、当館の中だけでなく、この委員会のように、外部の方々のご意見を聞いて、作品の受け入れを決めるよう考えている。

●他の委員からも指摘があった、この会で、必ず話題に一回はあがる、アプローチの件。裏口から入ってくる感じがして、美術館に行くというワクワク感がない。予算がかかるかもしれないが、お金をかけなくても、できることがあるかもしれないので、何かの機会にぜひ考えていただきたい。

入館者の数字、増えたり減ったりあるが、情報の発信の仕方も一つあると思う。例えば、SNSを使って、うまく発信するというのも、是非、考えていただきたい。

令和2年度事業で4番目に予定しているARTS&ROUTESで、これについて、果たして記事として要るのかどうか、議論した。記事化する大きな意味というのは、美術展を実際に実行する過程は、秋田だけでなく、全国的な課題だ。その年度で予算を執行するという大きな事情がある。しかし、この美術展は、前からいろいろなところかけ合いながら、そのものを用意しなければならない事情がある。そういう問題点を投げかける意味も大きくあったと思っている。県の予算を付けるやりとりの中で、単なる内輪の話にとどめておくと、いい美術展を開催することには繋がらないなと思った。4月開催は見送りとなったが、地元の美大と美術館と連携という大きな意味ももっているのでは是非、実現してもらえれば嬉しい。

→本当によく取材をしてくださり、様々な立場で問題が浮き彫りにされ、その事象だけの問題ではなく、全体的な問題がかなり浮き彫りにされた。あの記事の中で、公立美術館の持っている宿命があった。どうしても、その年度予算に縛られてしまう。かと言って年度で、予算が決まってから、さあ出発では、間に合わないという非常に矛盾したところがある。これから徐々に、ご理解をいただきながら、意思疎通をしながら透明化しながら、色々なところと話し合いを重ねていく必要があると館内でも反省している。

●前回、他の委員から「たつこ像」のチラシ、号外を作りたいと話が出て、私も、自分のSNS上で何か発信できたらと思っても、なかなか難しかった。号外を初めて見て、やっぱりすごいと感じた。こういうお子さんたちを入れて、同じポーズを撮った作り方を見て、展示を見てみたいと思った。チラシは大切だなとすごく感じた。来年度のミュシャ展に興味があるがチラシで来館者数にも影響あるのではないかと思うので、予算面もあると思うが、目立つ形でアピールしていただきたい。

●先ほどから話を聞いていると、この会で出されたことがスピード感を持って、形になっていると感じる。柔軟な、取り組みがこれから必要になるとして話を聞いていた。

せっかく、ふるさと村にある美術館なので特徴をもっともって出していければいい。

なかなか横手まで来る機会もないのでふるさと村にこの会が終わったら行ってみよう思う。ふるさと村に来た人たちがせっかく来たから美術館にも、とたくさん来てくれるようになればいい。

能代市で移動美術展、移動美術館が来年度予定されている、予算のかかることだが、来ていただければありがたい。機会があったら、たくさんの人にPRしたい。

●先日、秋田市の美術館へ行って、お堀を眺めるように皆さんが鑑賞し終わった時に、感想述べ合ったりするようなスペースが設けられていた。ちょっと休んで、景色を眺めることによって、鑑賞してきたものについていろいろ語り合う時間が取れた。近代美術館は、すごく景色の良いところに立っていると私は感じていたが鑑賞し終わった時に、外に目を向けるという空間がないなと思った。

●県立図書館と連携するこのネットワーク事業はいつから実施しているのか。

これは、いい事業なので継続してもらいたい。

→平成20年度から行っている。

●美大展の件、一番初めの情報では、美術大学の企画を秋田県と近代美術館が中止にしたとだけ出たので、一部SNSでは、なんだ、ひどいじゃないかという声もあがっていた。その後、すごく丁寧に記事にされていて、いきさつや事情をすごく説明して、くださり、それを見て、みんなちょっと冷静になって、こういうことがあったのかとか、今こういう仕組みになっているとわかった。素晴らしい記事だったと思う。

現代美術を開催することは、すごく大変でいろいろ準備もあるかと思うが、今、せっかく同じ秋田県内で、美術大学と公立美術館とちょっと連携が取れていなかったりとか、学生さんたちもなかなかここまで足を運んでいないような現状が見受けられるので、この機会に連携を取って、いい企画ができ

ればいいと思う。応援している。

●新聞を見て、財政当局の理解がなかなか得られないのは、うちでも、同じこと。

ただ、文化を進めていくのは、何年越しかでやっていかないとできないことなので、ぜひこの機会に、色々な人たちが、現状をわかっていただければ大変ありがたい。いつも記事を見ながら、職場の中でその話をしている。是非分かってもらいたい。

●皆さん大変期待されている。

記事で説明されないと、なかなか役所の事情は皆さんご存知ないので、理解できる記事だったと私も感じました。どうしても、実際、今かかるところに予算の比重がいつってしまうので、何か文化、芸術が、どうしても置き去りになってしまうのではないかと感じている。

→いただいた貴重な意見を当館の運営に反映させていきたい。